

ふらっとホーム2013 in 南区

市民と市長がまちづくりについて気軽に意見交換をする「ふらっとホーム」を開催しました。話し合われた内容の一部を紹介します。

開催概要

- 実施日 平成25年11月9日(土)
会場 南区民センター2階視聴覚室A・B
司会 吉田恵介(札幌市立大学デザイン学部教授)
参加者 市長、区長、対話者7人
※無作為抽出した区民に案内状を送付し、参加希望のあった方の中から対話者を抽選で決定しました。

この特集の問い合わせ先 総務企画課広聴係 ☎582-4714



子育てや教育に関すること



鈴木さん

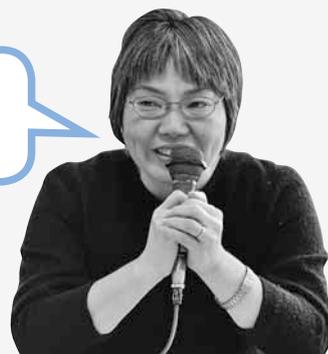
子どもの権利などについて書かれた「Kenri Book」は、子どもだけではなく親も読むべきものだと思います。親に対してはどうか周知しているのでしょうか。

剣淵町の「絵本を活用したまちづくり」が素晴らしい。同じようなことを札幌でもできませんか？機会があれば私も読み聞かせをしてみたいと思います。



上田市長

子どもの権利条例は、子どもには浸透してきています。今後は大人への周知も心掛けていきたいと思っています。絵本の読み聞かせはいいですね。白石区に絵本図書館を建設する予定ですし、区役所や各図書館でも読み聞かせを行っています。こうした取り組みにぜひ参加いただけたらうれしいです。



高橋規子さん



上杉さん

就職活動において、いろいろと戸惑うことがありました。早い段階から就職活動の対策を半ば強制的にでも行ってほしい、特に「自分の能力を知って、それを生かす方法」について具体的に教えてもらえればと思いました。

就職支援をしてもらわないと自分の適性がわからないということはないと思います。「そこで働けば道は開ける」くらいの気持ちでいればいいのでは。



高橋雄介さん



鈴木さん

札幌市でも、中学校や高校で職業体験やインターンシップに取り組んでいますよね。学生の職業に対する意識は昔よりも高まっていると思います。

学校に行って知識を得る「エデュケーション」より、主体的に学ぶ「ラーニング」が大事です。学生の時からいろいろな人と出会ったり、経験を積んで自分を磨くことがいい就職につながると思います。



上田市長